

知識テスト①

引用：株式会社ワールドプランニング「認知症介護基礎研修標準テキスト」

- 「認知症の定義と4大疾患」
- 「認知症4大疾患の特徴」
- 「中核症状の種類、特徴」
- 「中核症状が及ぼす影響」
- 「認知症の中核症状と行動・心理症状」
- 「行動・心理症状の出現原因」

・「認知症の定義と4大疾患」

認知症とはなにか

認知症とは□□ではなく、
さまざまな原因によって脳の病的変化が起こり、それによって□□機能が低下していくもので、認知機能の低下が原因で日常生活全般に支障をきたす状態。

（おおむね□□か月以上持続している状態）

にんちしょう？



生理的老化と認知症の違い

生理的老化

物の忘れ

がある

ない

生活に
 は
ない



認知症の症状

物の忘れ

が少ない

する

生活に
 を
きたす



認知症の原因疾患

認知症

認知症

四大認知症

認知症

認知症

・「認知症の4大疾患の特徴」

アルツハイマー型認知症の原因と 主要な症状

原因

脳の神経細胞の脱落、脳の病的な□が
起こる認知症で原因はよく分かっていない。

主要な症状

顕著な

□

□の障害

(時間・場所・人)

□の

障害

□機能の

障害

血管性認知症の原因と主要な症状

原因

脳卒中や脳梗塞などが原因で起こる認知症。比較的□□に発症し(発作から3か月以内)、□□状の症状を示し、階段状に進行するのが特徴。

主要な症状

認知機能の障害が起こるが、
1人ひとりの脳の障害部分が
異なるために症状には
[] 大きい。

日常生活上の障害や
 []での障害もみられる。

レビー小体型認知症の原因と 主要な症状

原因

が、大脳皮質を中心に、中枢神経から交感神経系に至るまで広範に出現し、脳が萎縮する。

主要な症状

の
認知機能障害

症状の出現

前頭側頭型認知症の原因と 主要な症状

原因

とが限局して萎縮するタイプの
認知症

主要な症状

変化

の欠如

の欠如

行動

- ・「中核症状の種類、特徴」
- ・「中核症状が及ぼす影響」

① 代表的な中核症状4つの症状を記入しましょう

認知症にみられる中核症状

(アルツハイマー型認知症の中核症状)

記憶障害

見当識の障害

**思考力や
判断力の障害**

実行機能の障害

① 代表的な中核症状4つが生活に及ぼす影響を記入しましょう

中核症状の生活への影響

記憶障害

**見当識の障害
(時間・場所・人物)**

**思考力や
判断力の障害**

実行機能の障害

中核症状が心理面に与える影響

①中核症状によって認知症の人がどんな気持ちになるか考えてみましょう

不安感



●これまで思い通りにできていたことができなくなる。

不快感



●しまったずの物がなくなったり、周囲の人が自分の言い分を聞いてくれなかったりする状況。

焦燥感



●自分が聞いた覚えもないことで、指摘されたり、攻められたりする状況。

怒りの感情



●思い出せそうなのに思い出せない

被害感



●体験全体を忘れたり、場所が分からなくなる。

- 「認知症の中核症状と行動・心理症状」
 - 「行動・心理症状の出現原因」

認知症の中核症状と行動・心理症状 (BPSD)

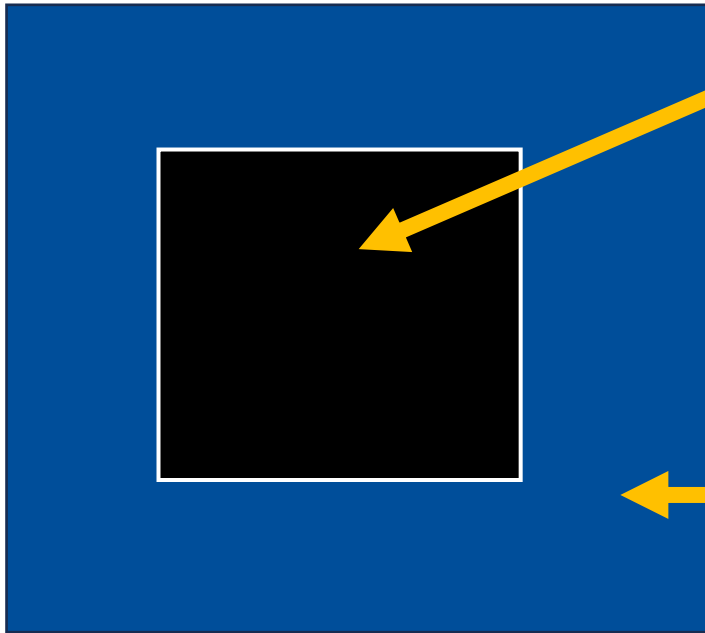
① 中核症状と行動・心理症状の違いについて に記入しましょう

中核症状

が原因で起こる症状

行動・心理症状 (BPSD)

一次要因(中核症状)と 要因、 要因、 要因、 要因など2次要因との相互作用によって生じる症状



行動・心理症状(BPSD)の出現原因

①BPSDの出現の原因を6つ記入しましょう

②BPSDの行動症状、および心理症状の種類を記入しましょう

(①)

(②)

(③)

(④)

(⑤)

(⑥)

認知機能障害

中核症状

もの忘れ
見当識の障害
判断力の障害

BPSD

行動症状

(

)

心理症状

(

)

回答および参考資料

参考資料を参考に現場での質問に活かしましょう

認知症とはなにか

認知症とは**病名**ではなく、
さまざまな原因によって脳の病的変化が起こり、それによって認知機能が低下していくもので、認知機能の低下が原因で日常生活全般に支障をきたす状態。

（おおむね6か月以上持続している状態）

にんちしょう？



生理的老化と認知症の違い

生理的老化

一部分のものの忘れ

自覚がある

進行しない

生活に
支障は
ない



認知症の症状

体験全体のもの忘れ

自覚が少ない

進行性で悪化する

生活に
支障を
きたす



認知症の原因疾患

アルツハイマー型認知症

血管性認知症

四大認知症

レビー小体型認知症

前頭側頭型認知症

アルツハイマー型認知症の原因と 主要な症状

原因

脳の神経細胞の脱落、脳の病的な萎縮が
起こる認知症で原因はよく分かっていない。

主要な症状

顕著な
記憶障害

見当識の障害
(時間・場所・人)

判断力の
障害

実行機能の
障害

血管性認知症の原因と主要な症状

原因

脳卒中や脳梗塞などが原因で起こる認知症。比較的急激に発症し(発作から3か月以内)、まだら状の症状を示し、階段状に進行するのが特徴。

主要な症状

認知機能の障害が起こるが、1人ひとりの脳の障害部分が異なるために症状には個人差が大きい。

日常生活上の障害や感情面での障害もみられる。

レビー小体型認知症の原因と 主要な症状

原因

レビー小体が、大脳皮質を中心に、中枢神経から交感神経系に至るまで広範に出現し、脳が萎縮する。

主要な症状

変動性の
認知機能障害

幻視

パーキンソン
症状の出現

前頭側頭型認知症の原因と 主要な症状

原因

前頭葉と側頭葉が限局して萎縮するタイプの
認知症

主要な症状

人格変化

抑制の欠如

社会性の欠如

常同行動

認知症にみられる中核症状

(アルツハイマー型認知症の中核症状)

記憶障害

直前のものの忘れが起こる
(近似記憶の障害)

見当識の障害

時間・場所・人物が
分からなくなる

思考力や 判断力の障害

思考の連続性がなくなり、
判断できなくなる

実行機能の障害

物事の手順が
分からなくなる

①代表的な中核症状4つが生活に及ぼす影響を記入しましょう

中核症状の生活への影響

記憶障害

同じことを何度もたずねる、
約束事を忘れる、
同じものを買収込む等

見当識の障害 (時間・場所・人物)

夜に出かける、
外出先で迷う、
家族が分からなくなる等

思考力や 判断力の障害

状況に応じた判断がで
きない、作業を最後まで行
うことができない等

実行機能の障害

日常の作業や料理など
計画を立てて実行する
作業が困難になる

中核症状が心理面に与える影響

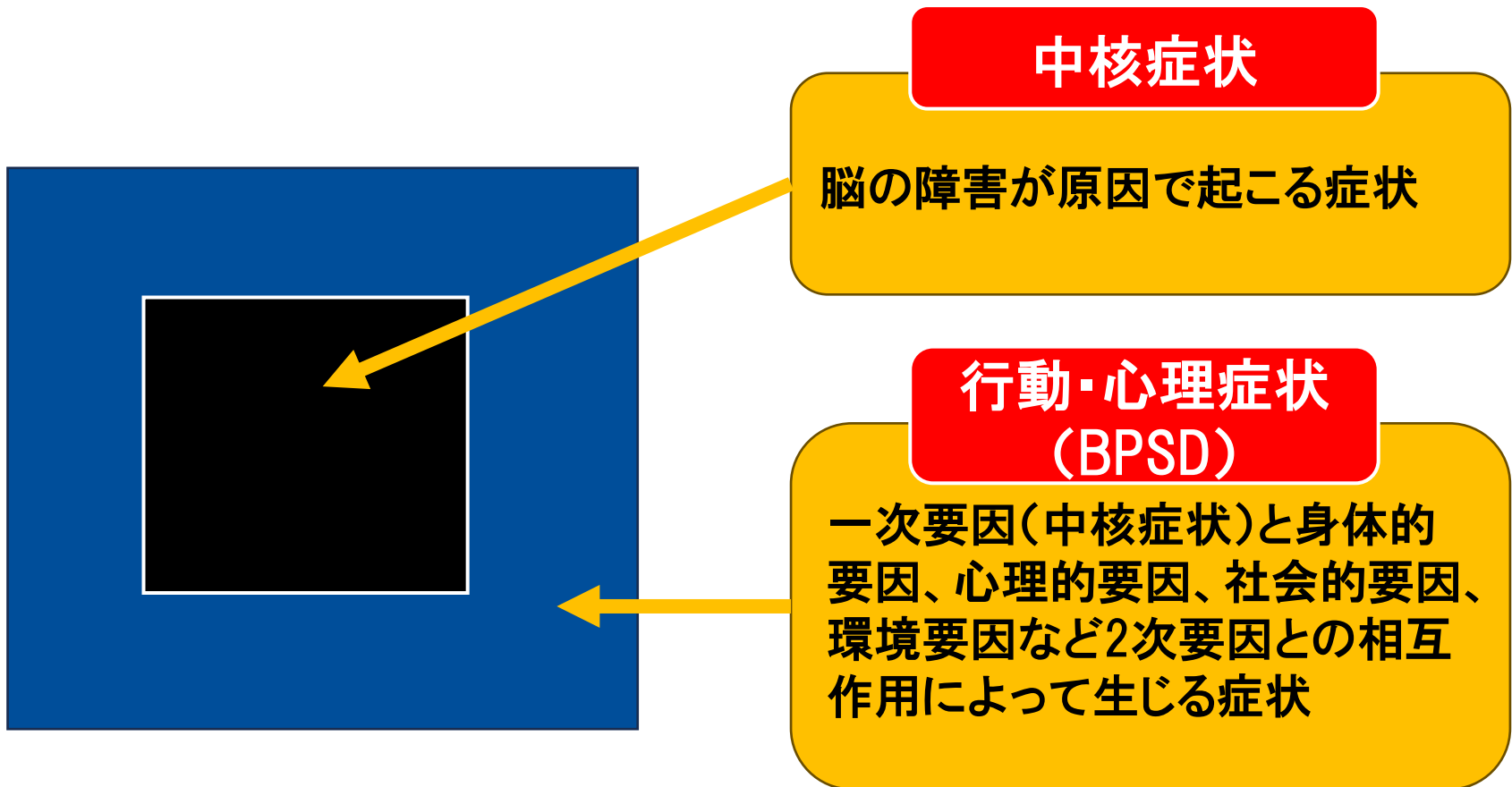
不安感	体験全体のもの忘れや、場所や人が分からなくなる不安
不快感	思い出せそうなのに思い出せない不快感
焦燥感	思いどおりに事が運ばないことによる焦燥感
怒りの感情	身に覚えのないことを指摘されたり、責められたりすることによる怒りの感情
被害感	自分のものがなくなったり、周囲が自分の言い分を聞いてくれないことなどに対する被害的な気持ち

代表的な認知症の違い

	病変	特長
アルツハイマー型認知症	脳全体が縮む	全般的に低下
血管性認知症	血管が詰まったところから先に脳細胞にダメージ	階段状に低下 症状がまばら
前頭側頭型認知症	前頭、側頭葉が縮む	無頓着 時として非社会性
レビー小体型認知症	後頭部にも縮みが及ぶ (ものを見る中枢)	パーキンソン症状 幻視

認知症の中核症状と行動・心理症状

① 中核症状と行動・心理症状の違いを記入しましょう



行動・心理症状(BPSD)の出現原因

①BPSDの出現の原因を6つ記入しましょう

②BPSDの行動症状、および心理症状の種類を記入しましょう

身体不調

ストレス

不適切な環境

不安感

不快感

不適切なケア

認知機能障害

中核症状

もの忘れ
見当識の障害
判断力の障害

BPSD

行動症状

・徘徊・攻撃性・不穏・焦燥
・不適切な行動・多動・性的脱抑制など

心理症状

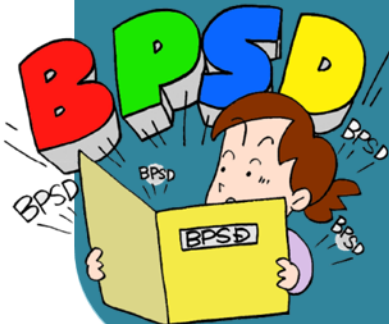
・妄想・幻覚・抑うつ・不眠
・不安・誤認・無気力・情緒不安定など

問題行動から行動・心理症状へ

「問題行動」という とらえ方

徘徊・妄想・攻撃的行動・不潔行為・異食
などの行動をケアを困難にさせる行為としてとらえる（**介護者の視点**）

認知症の行動・心理 症状(BPSD)という とらえ方



Behavioral and
Psychological
Symptoms of
Dementia

主な行動症状

徘徊・攻撃性・不
穏・焦燥・不適切な
行動・多動・性的脱
抑制など

主な心理症状

妄想・幻覚・抑う
つ・不眠・不安・誤
認・無気力・情緒不
安定など

**行動の障害ではなく
認知機能障害が原因という視点**

アルツハイマー型認知症（特徴）

認知症の5割以上を占めるタイプ。

記憶を司る海馬に障害が起きることが多く、初期から記憶障害が起きる。

- ① 同じ話を何度もするようになる
- ② 失くしものが多くなる
- ③ ぼんやり過ごす時間が増える
- ④ 今までできていた家事や身だしなみが雑になる

レビー小体型認知症（特徴）

パーキンソン病と関連する病気で、記憶障害より身体症状が目立つ。

- ① 認知機能の変動
- ② パーキンソン症状
- ③ 幻視
- ④ 転倒・失神
- ⑤ レム睡眠行動障害（RBD）
- ⑥ 排尿障害、便秘
- ⑦ 抑うつ症状

前頭葉側頭葉型認知症/ピック病（特徴）

40～50代と、若年での発症が多く、ほとんどは弧発性で発症する。

- ① 周徊（常同的周遊）
- ② 常同行為
- ③ 被影響性の亢進
- ④ 食行動異常
- ⑤ 自発性の低下
- ⑥ 意味性失語
- ⑦ 被流暢失語

前頭側頭型認知症を疑う症状

① 同じことを繰り返す	同じ行動や同じ言葉を繰り返す
② 時刻表的な生活	毎日同じ時間に同様の行動をとり、制止すると怒る
③ 食べ物へのこだわり	同じ食べ物、特に甘いものばかり際限なく食べる
④ 立ち去り行動	周囲の状況に関わらず、突然立ち去ってしまう
⑤ 状況に合わない行動	無遠慮で身勝手にも思える行動をとる
⑥ 無関心	周囲の出来事や自己（衛生、容姿など）へも無関心である
⑦ 逸脱行為	万引きのような反社会的行動、性的な行動などを繰り返す
⑧ 意欲減退	ぼんやりと何もしない、引きこもりが続く
⑨ 言語障害	言葉の意味がわからない、言葉が出にくい
⑩ 記憶障害が軽い	はじめの頃は比較的記憶障害が目立たない (行動障害や言語障害が目立つ割にはよく解っている)

脳血管性認知症（特徴）

	アルツハイマー型認知症	脳血管性認知症
年齢	75歳以上に多い	60歳代から
性別	女性に多い	男性に多い
経過	ゆっくり単調に進む	一進一退を繰り返して段階的に進む
病識	ほとんどない	初期にはある
神経症状	初期には少ない	足しの麻痺やしびれが多い
持病との関係	持病との関係は少ない	高血圧など持病が多い
特徴的な傾向	落ち着きがない	精神不安定になることが多い
認知症の性質	全体的な能力の低下	部分的な能力の低下（まだら認知症）
人格	変わることが多い	ある程度保たれる

ぜんぶわかる 認知症の事典より